

令和 5 年度（2023 年度）

事業報告書

社会福祉法人 ありんこ

◇本部	1 頁～
◇障害福祉サービス事業所ありんこ	5 頁～
◇ライフサポートセンターさかえ	
・ GH あさひ GH そよかぜ	13 頁～
・ 短期入所事業所 ありが亭	15 頁～
◇ライフサポートセンターありんこ	
・ 富士北麓障がい者相談支援センターありんこ	16 頁～
・ 障がい者就業・生活支援センターありす	18 頁～
・ 訪問型職場適応援助者事業	20 頁～

社会福祉法人ありんこ
令和5年度事業報告書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

【法人概要】

種類及び名称	社会福祉法人ありんこ		
所 在 地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28	Tel) 0555-22-7217	
代 表 者	理事長 渡 邊 秀 樹		
設立年月日	平成 13 年 10 月 26 日		

【法人の事業】

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	障害福祉サービス事業所ありんこ		
所在地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28		
電話番号	0555-22-7217	F A X 番号	0555-22-7218
代表者	施設長 桑 原 由 紀 枝	サービス管理責任者	金 森 大
事業開始年月日	平成 22 年 4 月 1 日	開 所 時 間	9 時 ～ 16 時 00 分（7.0 時間）
開 所 日	月 ～ 金曜日（土・日の行事あり） カフェ 火 ～ 日曜日		
内 容	訓練科目	・調理、清掃、洗濯、裁縫、草取り等家事訓練 ・体力づくり ・コミュニケーション訓練、金銭管理訓練、衛生管理訓練、生産従事訓練 ・社会人マナー訓練、社会資源活用体験 ・就職活動相談及び支援 ・企業実習、施設外就労、施設外支援 ・パソコン技能、運転免許取得等の学習	
	授産種目	・紙器加工、精密部品処理、野草他サンプル等の袋詰めなどの簡易受注作業 ・お弁当、お菓子、手工芸品、加工品などの自主製品づくりと販売活動	
	他の活動	・福祉事業所を利用して就職された方の就労定着・生活支援 ・アルミ缶や古紙などの回収、分別 ・バザーや模擬店の出店 ・カフェ運営 ・各種研修会への参加 ・地域との交流事業 ・レクレーション活動 ・余暇活動、創作活動支援 ・ボランティア活動	

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	グループホームあさひ		
所在地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12	Tel) 0555-22-3770	
代表者	管理者 桑原 由紀枝	サービス管理責任者	桑 原 節 子
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日	バックアップ施設	障害福祉サービス事業所ありんこ

従たる事業所	グループホームそよかぜ		
所 在 地	山梨県富士吉田市下吉田 5-13-18	Tel) 0555-23-0294	
事業開始年月日	平成 19 年 11 月 1 日		

事業の運営方針	障がいをもつ方が、地域で当たり前のように生活できるような環境づくりを目指し、本人の意思及び人格を尊重し、健全で主体的な生活が送れるように、利用者の立場に立って援助を行い、自立生活や地域活動の充実を図ります。		
---------	---	--	--

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	短期入所事業所ありが亭		
所在地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12		Tel) 0555-22-3770
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日	利用定員	3 名
事業の運営方針	居宅の生活が一時的に困難になった障がい者に対し入浴・排せつ・食事・着替えの介助・見守りその他必要なサービスを提供して、日常生活上の支援を行います。		

■第二種社会福祉事業（相談支援事業）の実施

種類及び名称	富士北麓障がい者相談支援センターありんこ * 指定特定・指定障害児相談＝富士吉田市指定 指定一般相談＝山梨県指定		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 角 張 洋 和	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
事業の目的と内容	・ 障がい者、家族、介護者、関係者等（以下「障がい者等」という。）からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、その他の障がい福祉サービスの利用等、必要な支援を行うことにより、障がい者等が自立した生活または社会生活を営むことが出来るようにします。 ・ サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成し、モニタリングを実施し継続支援を行います。 ・ 地域移行支援、地域定着支援を行います。		

■公益事業の実施

種類及び名称	障がい者就業・生活支援センターありす（国、県からの委託事業）		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	センター長 三 浦 誠	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
事業の目的と内容	就職を希望する障がい者、職場不適応により離職した障がい者や離職のおそれがある在職中の障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ります。		

■公益事業の実施

種類及び名称	訪問型職場適応援助者事業		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 三 浦 誠	事業開始年月日	平成 29 年 4 月 1 日
職員	第一号ジョブコーチ 2名（兼務）		
事業の目的と内容	障がい者の職場適応に課題がある場合に、職場に出向いて、障がい特性を踏まえた専門的な支援を行い、障がい者の職場適応を図ることを目的としています		

【法人の運営】

＜理事会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	R5. 6. 30	5 (1)	・ 令和 4年度事業報告及び決算の承認について ・ 役員改選について ・ 第1回評議員会の招集について ・ 理事長・業務理事活動報告について ・ その他
2	R5. 7. 14	5 (1)	・ 理事長の選任について ・ 業務理事の選任について ・ その他
3	R5. 11. 29	5 (1)	・ 理事の欠員補充について ・ 運営規程の変更について ・ 理事長・業務理事活動報告について ・ その他
4	R6. 1. 20	5 (1)	・ 令和5年度第一次補正予算（案）について ・ 理事欠員の補充について ・ 管理者および職員配置の変更について ・ 障害福祉サービス事業所ありんこの運営規程の変更について ・ 第2回 評議委員会について ・ その他
5	R6. 3. 19	6 (2)	・ 令和5年度第二次補正予算（案）について ・ 令和6年度事業計画（案） ・ 令和6年度収支予算（案） ・ 就業規則の変更について ・ B C Pの策定について ・ 理事長・業務理事活動報告について ・ 第3回 評議委員会について ・ その他

() は監事出席

＜評議員会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	R5. 7. 14	6	・ 令和 5 年度事業報告 ・ 令和 5 年度収支決算報告（案）について ・ 役員改選について ・ その他
2	R6. 1. 31	5	・ 令和5年度第一次補正予算（案）について ・ 理事選任について ・ その他
3	R6. 3. 28	5	・ 令和5年度第二次補正予算（案）について ・ 令和6年度事業計画（案） ・ 令和6年度収支予算（案） ・ その他

＜その他の活動＞

月	日	曜	主な活動内容
4	1	木	新年度開始式
5	31	火	令和4年度消費税申告・納税
6	22	木	法人研修「職場ハラスメントについて」
6	29	水	法人内部監査
	30	木	甲府法務局へ資産変更登記
7	14	金	甲府法務局へ理事長重任登記
8	5	土	高座神社祭典 参列
9	12	火	都留信用組合・ピーターパンカード寄附金受贈式
2	5	日	初午祭

障害福祉サービス事業所ありんこ
令和5年度事業報告書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1. 利用者

定 員 生活訓練 6名 就労移行 6名 就労定着 20名 就労B型 40名
年度末現員 生活訓練 3名 就労移行 3名 就労定着 4名 就労B型 36名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活訓練	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
就労移行	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3
就労定着	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
就労B型	37	39	39	39	38	38	37	35	35	36	36	36
合 計	47	48	48	48	47	47	46	45	45	46	46	46

生活訓練 = 4月 2名利用開始

就労移行 = 4月 1名利用終了（継続B型へ） 11月 1名利用開始（継続Bより）

就労B型 = 5月 2名利用開始（1名移行より） 7月 1名利用終了

9月 1名利用終了 10月 1名利用終了

11月 1名利用終了（移行へ） 1月 1名利用開始

支給決定市町村	富士吉田市	38名	富士河口湖町	4名
（実人数）	西桂町	2名	都留市	2名
	上野原市	2名		

2. 職員

施設長	1名	サービス管理責任者	2名	就労支援員	1名
就労定着支援員	1名	目標工賃達成指導員	2名	職業指導員	8名
生活支援員	8名	調理員	2名	事務員	1名

3. 開所日数・延べ利用人数・1日平均利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活訓練	日	21	18	22	15	19	20	19	16	19	15	16	22	222	1.4 人
	人数	47	32	47	27	27	27	29	17	19	15	16	26	329	
就労移行	日	20	23	26	24	20	22	21	22	20	19	20	24	261	1.7 人
	人数	20	44	53	47	20	31	41	43	39	36	38	46	458	
就労B型	日	25	23	26	24	23	26	26	26	24	27	27	31	308	28.6 人
	人数	757	656	787	718	746	756	731	757	711	655	704	832	8,810	
合計	日	22.0	21.3	24.6	21.0	20.6	22.6	22.0	21.3	21.0	20.3	21.0	25.6	263.3	36.4 人
	人数	824	732	887	792	793	814	801	817	769	706	758	904	9,597	

4. 工賃・謝金等支払月別状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生活 訓練	支払総額	7,945	5,775	7,245	4,270	4,655	4,585	4,970
	平均謝金	2,648	1,925	2,415	1,423	1,552	1,528	1,657
就労 移行	支払総額				11,430	5,210	7,750	10,250
	平均賃金	0	0	0	5,715	2,605	3,875	5,125
就労 B型	支払総額				298,298	333,891	339,792	325,312
	平均賃金	0	0	0	7,649	8,787	8,942	8,792
		11月	賞与	12月	1月	2月	3月	合計
生活 訓練	支払総額	2,975	35,000	3,695	4,515	5,240	37,730	128,600
	平均謝金	992		1,232	1,505	1,747	12,577	3,572
就労 移行	支払総額	10,650	35,000	10,670	10,395	10,945	99,620	211,920
	平均賃金	3,550		3,557	3,465	3,648	33,207	6,836
就労 B型	支払総額	340,368	1,330,000	386,183	388,936	405,609	2,724,251	6,872,640
	平均賃金	9,725		11,034	11,112	11,267	75,674	15,444

5. 活動報告

①自立訓練(生活訓練)

調理訓練（ちらし寿司・月見団子・かぼちゃのほうとう・バレンタインチョコブラウニー・バタークッキー等の年中行事に関わるメニューの他、みそ汁・どら焼き・チキンカレー・珈琲ゼリー・ホットケーキ・茄子とピーマンのみそ炒め・焼きそば・炊き込みご飯・オムライス・冷製スパゲティ・あんマガサンド・さつまいも餅・サンドイッチ・インスタントラーメン等）
 掃除訓練、洗濯訓練、裁縫訓練、買物訓練、金銭訓練、コミュニケーション訓練、外出訓練、体力作り、月間目標決め、作業訓練、施設外作業訓練、脳トレーニング
 四季の行事活動（ひな祭り・七夕・十五夜・クリスマス飾り等） 野菜栽培
 麦の穂会活動（麦の穂展〔山梨中央銀行吉田支店〕・ミニ交流会）
 ふれあいセンター教室へ参加（陶芸・絵手紙・クラフト・フラワーアレンジメント）
 創作活動（障害者文化展出展：Qスタ）
 地域清掃活動（ゴミ拾い）

令和5年度は、新卒者3名からのスタートでした。新社会人の受け入れにあたり、気負わず、焦らずのスモールステップを目指すところで、今年度より利用者個々に個別訓練実施計画書を作成することになりました。聞き取りは毎月実施し、小さな目標を決め、達成するための方法を課題とし、ともに考え、少しずつクリアできるよう取り組みました。また、困っていることや悩み、夢などを聞き取りしながら、利用者の想いにより深く触れられ、良い関係性を築くことが出来ました。まだまだ多感な時期であり、人との関りの中で様々な悩みがありました。一人の困りごととはひとつの例として取り上げ、就労移行の利用者と合同で勉強会を開催し、解決策を皆で共有できるよう取り組みました。

一年の活動は通年と大きく変わることはありませんでしたが、日ごろから自分のやりたいことや興味があることを自分から発信できるように支援していく中で、皆が大きく興味を抱いたのは調理訓練でした。図書館で料理本を借りてレシピを調べ、出来栄を想像しながら目を輝かせていたのが印象的です。家でも実践したとの事なので自立訓練で得た一つの成果でした。それと共に物事に興味を持たせる環境作りがいかに大切なものであるかと実感しました。

また、3名共に生活訓練の後は就労移行に行って就職したいという強い希望があり、この1年間は、皆が就労を意識して意欲的に取り組んでいました。そして、モチベーションを下げることなく、次年度は就労移行へ進むことになり、生活訓練から就労移行へとステップアップできました。

②就労移行支援・就労定着支援

個別訓練(パソコン、各種運転免許、読み書き・計算、金銭管理、清掃 等)
就職準備訓練(ビジネスマナー、履歴書等書類の書き方、面接練習、会社見学
ハローワーク活用 等)
作業訓練(部品の検査や組み立て、洗車作業、環境整備作業 等)
施設外訓練(企業実習、施設外支援や施設外就労の提供 等)
施設見学(複合型福祉施設・A型事業所)
生活訓練との合同勉強会(携帯電話使用のモラル・マナー)
その他(研修会やイベントへの参加)

<就労移行支援事業>

令和5年度は、生活訓練からのサービス変更者1名を加え3名でスタートしました。
1年間の利用者の推移としては、1名が5月から就労継続支援B型にサービス変更し、1名が体験期間を経て就労継続支援B型から11月にサービス変更しました。計4名の方にサービスを利用いただき実習件数は1件(1社)でした。
前年度に引き続き、各利用者による訓練メニューの計画と実施を行いました。就職者を出すことができず、一般就労を見据えた計画的なプログラムの実施と、利用者支援や企業対応へ知識や技術向上の必要性を改めて感じました。
新たな取り組みとしては、10月からハローワークにおいて精神障害者雇用トータルサポーターの方を講師とした就労準備プログラム講習会に計6回参加し、就労パスポートの作成やコミュニケーション、リラックス法、ビジネスマナー等について、利用者の方々と共に学ぶことができました。また、5月から職員会議に代わり、生活訓練と合同会議を毎月行い、A型事業所の見学や携帯電話の勉強会を合同で行いました。

<就労定着支援事業>

令和5年度は、前年度から継続し4名の方にサービスを利用いただきました。今後も利用者、就職者を増やすことができるよう、各関係機関との連携を強化してまいります。

③就労継続支援B型

精密部品加工作業 チラシ等封入作業 紙器加工 野草等計量梱包作業
シール貼り作業 保冷剤袋入れ作業 リサイクル品の収集と処理作業
農作業 環境整備作業 縫製作業 マスク・ビーズアクセサリ製作
施設外就労 うどんカフェや企業での就労及び実習
地域交流活動 地域清掃活動 体力作り 創作活動 四季の行事体験 時事学習

令和5年度は、利用者37名でスタートしました。新型コロナウイルス感染症の影響で制限されていた地域のイベントも開催されるようになり、事業所としても、久しぶりに市民夏まつりや富士ふれあいの村まつりなどへ参加しました。利用者も楽しみながらイベント参加できた様子で、コロナ禍前の日常を少しずつ取り戻していくことを実感した1年でした。

また、月に1回職員会議を開催し、各係の利用者の様子や作業状況を確認、共有しながら、利用者に対し一体的な支援が提供できるよう努めてきました。

<作業係>

令和5年度は、作業面では、利用者の高齢化や職員数の課題もあり施設外作業の見直しを行いました(クロダ様→中止、ミナモト様→作業日数を減らす)。その結果、工賃収入は減少しましたが、利用者、職員ともに少しゆとりをもちながら作業に取り組めるようになりました。受託作業については、既存の取引先企業との取引を維持しながら、安定的に取り組むことができました。

作業環境については、利用者数も多いことから、個々の利用者の特性等を踏まえ、ライフサポートセンターありんこの空きスペースを活用し、1人1人の利用者が穏やかな気持ちで集中して作業ができるよう工夫してきました。

また、新型コロナウイルス含めた感染症対策として、日々の健康チェック、マスク着用、手洗い・うがい、消毒などを継続し、利用者1人1人が健康で安心して通所できるよう取り組みました。

<お菓子係>

- ・菓子等製造作業 ・食品加工作業（梅漬け・干しブドウ・ジャム・干し柿・切干大根等）
- ・しいたけ栽培加工
- ・販売 加藤電器（毎週木曜日） Qスタ1F 市立病院売店
道の駅富士吉田 三つ峠グリーンセンター
季節販売（クリスマス・バレンタインデー・ホワイトデー）
イベント出品

令和5年度も前年度に引き続き、利用者の方と職員の健康・衛生面のチェックを心がけて作業に取り組みました。作業は個々のペースに合わせて行い、利用者の方が自主的に作業を行うことができるように手順書を用いたり、クッキー生地を切る作業やシール貼り作業などがやりやすいように治具を工夫し活用しました。オーブンの出し入れや温度設定・ガス栓等も利用者さんにしてもらうように取り組みました。また、材料費や光熱費の高騰もあり、値上げや内容量を減らし対応しました。

徐々にイベントの開催が増え、少しずつですが販売出品することができました。道の駅等の委託販売先での売れ行きは良く、丁寧にお菓子作りや加工食品の製作にも取り組むことができました。大きな怪我をすることなく、安全・安心に調理をすることができました。衛生面の振り返りの時間が取れたり良い面もありました。大きな怪我をすることなく、安全・安心に調理することができました。

一人一人の任される幅が広がり、今後も利用者の方の働く意欲を引きだせるよう、精進してまいります。

<ありんどう係>

令和5年度も前年度に引き続き、お客様に安心して利用していただけるよう、衛生対策と感染症防止対策に努め営業を続けてきました。

市民会館で行われるイベントが徐々に増えてきたことに伴い、来店者数も増えてきました。しかし原材料費や光熱費の高騰を受け、原価管理を継続してきたものの、収益は思うように伸びませんでした。

一昨年度、就労継続支援B型事業所向けの工賃向上研修やオンラインでのアドバイザー派遣を受けましたが、令和5年度は、実際にアドバイザーの方が来所して下さり、その後のオンラインでの研修を通して助言をいただきました。

ありんどうで働く利用者の方に対しては、「開店準備」「接客」「閉店後の掃除や片付け」のマニュアルを作り、見通しをもって働くことができるように支援をしてきました。

<厨房係>

令和5年度は現状維持で、無理のない範囲で外注弁当を引き受けましたが、原材料や光熱費の高騰の影響でほとんど、利益はありませんでした。原材料の見直しの為、調味料等はなるべく低価の物を選ぶようにしました。

嗜好調査も行いました。利用者の好き嫌いの食べ物の幅が広く、まとめるのが大変でしたが結果をもとに魅力ある献立作りができるように努めてまいります。

利用者の方々の作業意欲が落ちないように声かけやそれぞれの特性を活かした支援を行いました。

④その他

定例職員会議	職員会議：5月より第3木曜に各課会議を行い、必要時全体職員会議を行う。 厨房会議・ありんどう会議（随時）
支援計画	個別支援計画に係るケース会議、説明並びに同意の面談の開催（随時） 計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席（随時）
職員研修会	・医療観察制度について(5/30) ・法人職員研修「職場のパワーハラスメントを考える」(6/22) ・相談支援従事者初任者研修(7/31 8/1 8 10 9/4 10/4 10) ・ジョブコーチ支援推進協議会(6/22 9/28) ・ジョブコーチサポート研修(12/14) ・工賃向上研修研修(7/12) ・アドバイザー派遣(8/22 来所 9/21 10/19 11/14) ・自立支援協議会就労部会ビジネスマナー講習会(12/14) ・マネジメント研修「人材育成力強化研修」(12/15)
会議への出席	・富士北麓圏域自立支援協議会 就労支援部会 ・山梨県知的障害者支援協会 評議員会・スタッフ部会
実習・体験受入れ	ふじざくら支援学校 富士吉田市立看護専門学校 昭和大学 都留文科大学 相談支援専門員の紹介者

月	日	曜	主な活動内容	
4	3	月	新年度開始式	
	15	土	三和防災様 定期点検	
	22	土	富士吉田市立看護学校春和祭出店参加	
	29	日	昭和の日 障害者フライングディスク大会郡内大会	
5	2	火	在宅支援(～5/3)	
	14	日	障害者スポーツ大会(陸上・フライングディスク)10名参加 赤い屋根のお祭り ともだちフェスタ出店参加	
	16	火	生) 麦の穂会議	
	18	木	5月より第3木曜日を会議日とし、各課会議を行う(利用者は2時終業)	
	23	火	生活訓練・就労移行支援合同勉強会「携帯電話使用のモラルとマナー」	
	25	木	避難訓練(火災想定・消防署立ち合い)	
	30	火	ふじざくら支援学校Ⅰ期実習(～6/9)生活訓練1名、継続B1名	
	31	水	チャレンジデー参加(沖縄県石垣市と対戦)	
	6	1	木	渡邊栄元施設長のお墓参り
		9	金	Bあ) いずみの会総会(ありんどうにて飲食提供)
20		火	生) クラフト教室	
23		金	生) 絵手紙教室	
29		木	富士吉田市立看護専門学校実習7名受け入れ	
7	3	月	B厨) 山梨県食品衛生協会お弁当試験結果陰性 ふじざくら支援学校進路講話(講師:金子就労支援員)	
	6	木	明見中学校より、プランターの花3鉢寄贈していただく	
	8	土	生就) パルパル祭出店参加	
	12	水	B厨) 伊藤肉店様 弁当配達(火水金)再開	
	14	金	生) クラフト教室(ドライフラワーアレンジメント)	
	18	火	生) クラフト教室	
	23	日	B) あんずの森祭り出店参加	
	25	火	放課後等デイサービス「プラスワン」来所(利用者3名職員2名見学)	
	26	水	生) 絵手紙教室	
	28	金	生) 陶芸教室	
	29	土	B) 市民夏まつり出店参加	
	8	2	水	生就) 慶和荘グループ複合型福祉施設見学
		11	金	山の日 開所日(施設内・施設外作業)
		14	月	お盆休み(～8/16)
		19	土	ありんどう キッズサポート様来店

月	日	曜	主な活動内容
9	22	火	B) 工賃向上アドバイザー (株)インサイト北野様来所
	28	月	富士ふれあいの村祭り作品展出展(～9/22)
	1	金	B厨) ナノリウム様 弁当配達再開
	3	日	富士吉田市総合防災訓練(IP無線機による応答訓練に参加)
	9	土	富士ふれあい村祭り出店・ステージ参加
	12	火	都留信用組合ピーターパンカード贈与式 (軽トラックの幌と作業用台車を寄贈していただく)
	18	月	敬老の日 開所日 (施設内作業)
	22	金	富士吉田市障害福祉計画当事者ヒアリングに利用者3名出席
10	26	火	ふじざくら支援学校よりⅡ期実習生受け入れ(～10/6 生活訓練1名・就労移行2名)
	2	月	富士北稜高校交流学习事前授業
	3	火	生) 麦の穂ミニ交流会参加(富士ふれあいセンター)
	10	火	B) ふじざくら支援学校よりⅡ期実習生受け入れ(～10/12 1年生1名) 就) ツクイ富士吉田様にて利用者1名実習(～10/23) 生) フラワーアレンジメント教室
	14	土	太陽の集い参加 (富士吉田市立看護専門学校)
	16	月	昭和大学初年次体験実習Ⅰ期(～18日 各日4名)
	18	水	就) ハローワーク富士吉田就職準備プログラム①受講
	21	土	三和防災様 定期点検
11	23	月	都留文科大学介護等体験実習生2名受け入れ(～10/27)
	24	火	昭和大学初年次体験実習Ⅲ期(～26日 各日4名)
	25	水	生) 絵手紙教室
	27	金	生) 陶芸教室
	1	水	就) ハローワーク富士吉田就職準備プログラム②受講
	2	木	山梨県障害者文化展地域展(～11/6 富士急ターミナルビルQスタ) →1名県総合展(12/2～6)へ出展
	3	金	文化の日 開所日(恩賜林公園:ウォーキング)
	5	日	都留ドリーム祭り参加
	10	金	山梨県芸術文化祭開会式参加 (「目にうつるものだけがほんとうではないよ」ダンス披露)
	14	火	生) フラワーアレンジメント教室
	15	水	就) ハローワーク富士吉田就職準備プログラム③受講
	16	木	知的障害者支援協会全国大会販売・スタッフ協力(～17)
	21	火	ふじざくら支援学校高1生職場見学 ありんどうにて昼食

月	日	曜	主な活動内容
12	22	水	生) 絵手紙教室
	23	木	勤労感謝の日 開所日 (富楽時祭り見学)
	24	金	生) 陶芸教室
	27	月	ふじざくら支援学校高2生職場見学
	4	月	利用者定期健康診断 富士北稜高校交流学习②
	10	日	富士吉田市障害者団体連絡協議会「いずみ」主催ボウリング大会 利用者24名参加
	11	月	富士北稜高校交流学习③
	14	木	自立支援協議会就労部会主催「ビジネスマナー講習会」職員・利用者参加
	20	水	テレビ山梨厚生文化事業団様よりクリスマスケーキの寄贈を受ける B) クリスマス菓子引き渡し 就) ハローワーク富士吉田就職準備プログラム④受講
	28	木	2023年仕事納め 大掃除
1	4	木	2024年仕事始め
	8	月	成人の日 開所日 (坊主めぐり大会)
	17	水	就) ハローワーク富士吉田就職準備プログラム⑤受講
	26	金	生) 陶芸教室
	30	火	生) クラフト教室
	7	水	就) ハローワーク富士吉田就職準備プログラム⑥受講
	9	金	B) バレンタイン菓子引き渡し
2	12	月	建国記念日 振替休日 開所日 (初午祭参加)
	14	水	道志ダンパー様「山梨産福連携アワード受賞」水越社長・斎藤様来所 生) 絵手紙教室
	16	金	生) 陶芸教室
	20	火	生) デコレイクラフト教室
	23	金	天皇誕生日 開所日 (富士山世界遺産センター見学)
	26	月	積雪のため1時間遅れ
	8	金	臨時休業(コロナウイルス感染拡大防止のため)・施設内消毒
	19	火	生) 外出訓練 B) 正福寺様 クッキー納品

グループホームあさひ・そよかぜ

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

◎ GHあさひ (定員 5名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
退居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

◎ GHそよかぜ (定員 7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	7	7	7	7	6	7	7	7	7	7	7	7
退居者	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
合 計	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	7	7

◎支給決定市町村 富士吉田市 (9名) 都留市 (2名) 上野原市 (1名)

2. 職員

管理者 (常勤兼務) 1名

サービス管理責任者 兼 世話人 (常勤) 1名 世話人 (非常勤) 7名

3. サービス内容

(1) 食事の提供 (朝食 夕食)

(2) 日常生活の支援

- ・ 日中活動の支援
- ・ 掃除、洗濯、買い物等への支援及び働きかけ
- ・ 悩みや不安などの相談事への助言等の支援

(3) 医療及び健康管理の支援

(4) 金銭管理の援助

(5) 障害者総合支援法に係わる申請の援助

(6) 行政手続きの代行

5. 総括

令和5年度は、グループホームあさひは5名、グループホームそよかぜは7名、合わせて12名でのスタートとなりました。その後グループホームそよかぜは、7月に1名退所しましたが、9月には新たに1名入居しました。年度末の入居人数は男女合わせて12名の利用者になりました。

そんななか1月にそよかぜの50代の利用者が事業所の施設外就労中に骨折するけがをし3カ月入院してしまいました。これも高齢になってきているので骨折しやすくなってきたという高齢化の表れなのかもしれません。他の利用者にも外出するときなどの歩行時には転倒しないように声掛けをしています。

5月には新型コロナウイルス感染症も五類に移行しましたが安全衛生委員会で検討し引き続き体調チェック、手指消毒、マスクの着用は続けることになり感染防止に努めてまいりました。

事業所ではコロナ感染の報告がありましたが、この1年はグループホームの利用者は感染することなく過ごすことができました。感染防止のために、予定していたイベントなどはできませんでした。が、年末のクリスマス会、年度末には食事会に行くことができたことは、気分転換になったようでした。

これからも利用者の健康管理に努め、グループホームが過ごしやすいところ、安心・安全なところであるように、働く職員、世話人にとっても風通しのよい場所になるように努めてまいります。

6. 活動報告

月	日	曜	活 動 内 容
4	23	土	防災点検(三和防災)
5	6	土	あさひパーベキュー
	14	土	フライングディスク大会 2名参加
	16	火	正福寺住職通夜参列
6	15	木	そよかぜ避難訓練
	19		あさひ避難訓練
7	30	日	旭町夏祭り出店(あさひ)
	31	木	GHそよかぜ利用終了 1名
9	3	日	旭町防災訓練参加
	3	日	曙町防災訓練参加
	11	月	GHそよかぜ利用開始 1名
	12	火	山梨県障害福祉課による実施指導 (グループホームあさひ・短期入所事業所ありが亭)
	20	火	管理者研修会参加
10	14	土	コロナ研修会参加
	19	木	そよかぜ防災ラジオ設置
	21	土	防災点検(三和防災)
	23	月	あさひ防災ラジオ設置
11	4	金	あさひインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
	8	月	そよかぜインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
	15	水	消防点検
	16	火	防災訓練そよかぜ
	16	火	ありんこ利用者健康診断
	20	月	防災訓練あさひ
	27	月	ふじざくら支援学校生徒、父兄あさひ見学
12	4	月	あさひコロナワクチン接種
	5	火	そよかぜコロナワクチン接種
	25	月	クリスマス会
1	25	木	利用者さん骨折のため入院(3カ月)
2	12	月	初午祭参加
3	19	火	あさひ食事会
	21	木	そよかぜ食事会

令和5年度事業報告書

相談支援事業

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1. 事業の内容

◎ <指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業>

当事者についてのアセスメントに基づきサービス等利用計画を作成します。サービス等利用計画の作成後、実施状況の把握「モニタリング」を行い、必要に応じて計画の変更、福祉サービス事業者等との連絡調整等を行います。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	実人員
障害者	78	7	214	105	4	5	84	486
障害児	4	0	19	0	27	0	0	40
計	82	7	233	105	31	5	84	526

契約者数	145	解約	5
新規契約	11		

(支援方法)

訪問	480
来所相談	20
同行	10
電話等相談	897
電子メール	31
個別支援会議	1
関係機関	28
その他	187
計	1,654

(支援内容内訳)

福祉サービスの利用等に関する支援	315
障害や病状の理解に関する支援	28
健康・医療に関する支援	224
不安の解消・情緒安定に関する支援	57
保育・教育に関する支援	8
家族関係・人間関係に関する支援	76
家計・経済に関する支援	38
生活技術に関する支援	37
就労に関する支援	33
社会参加・余暇活動に関する支援	6
権利擁護に関する支援	19
その他	813
計	1,654

利用計画作成件数	98	モニタリング件数	290
----------	----	----------	-----

◎ <指定一般相談支援事業>

障がい者支援施設、精神科病院に入所又は入院している障がい者を対象に住居の確保、その他の地域生活へ移行するための支援を行います。
※令和5年度の実績なし

2. 職員の職種、員数及び職務内容

- (1) 管 理 者 1 名 (非常勤)
- (2) 相談支援専門員 2 名 (常勤専任 1 名、非常勤専任 1 名)
- (3) 相談支援員、地域移行支援・地域定着支援を担当する者

3. 通常の事業の実施地域

富士北麓6市町村全域

(富士吉田市 富士河口湖町 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村)

その他、近隣市町村。 ※相談によってはこの限りではない。

4. 主たる対象者

身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者 障がい児 難病患者など

5. 総括

利用者数は、前年度より6名増え、新規契約者は2名減少しました。給付費をいただいた件数は、388件あり、前年度より増加しました。

スタッフ間で情報共有をし「加算の取りこぼしがないようにするにはどうしたらいいか」を協議を行いながら事業を進めてまいりました。同様に令和6年度も加算の取りこぼしが無いように努めます。

また、事業所(体制整備)加算が取得できる研修に出席することができなかったため、令和6年度は積極的に研修等に参加し研鑽を積みます。

相談支援ネットワークやまなしや富士北麓相談支援ネットワーク会議、相談支援専門員ネットワーク会議などに参加し、地域の相談支援の質の向上に注力しました。

障がい者就業・生活支援センターありす

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

<雇用安定等事業>

1. 就業支援の実施

主任就業支援員1名、就業支援員1名を配置し以下の業務を実施

(1) 相談・支援の実施

- 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。
- 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。

障害者に対する相談支援		事業主に対する助言		職場実習のあっせん	
対象者数	374人	対象事業所数	98件	実習件数	27件
相談件数	2,340件	相談件数	656件		
就職件数	31件				

(2) 在職者交流会の実施

在職者の交流参加希望者に対して交流会を実施する。交流会では、グループワーク等で職場の悩みを話し合う場を提供し、不適応課題の早期把握、改善を図り、職場定着を促進している。

(3) 就業支援担当者の研修等

障害者就業・生活支援センター就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行なった。

【障害者就業・生活支援センター意見交換会】

日程：令和5年11月14日

※今年度は、Webでの意見交換会となった。

(4) 移動相談(ハローワーク巡回相談)

各ハローワークにて毎月1度相談日を設け、就労についての相談を行い、ニーズの掘り起こしや、当センターの周知を行なった。

身体	知的	精神	発達	難病	高次	その他	合計
2件	3件	27件	12件	1件	2件	0件	47件

2. 関係機関との連絡会議の開催

業務の円滑かつ有効な実施に資するため、他の就業・生活支援センター及び、ハローワーク、就労移行支援事業所、特別支援学校、自治体、福祉事務所等の関係機関との連絡会議を開催または出席し、これら機関との連携を図った。

<生活支援事業>

1. 生活支援の実施

生活支援員（常勤）1名 を配置

登録された障害者に対する支援

活動内容	実施期間	実施方法	
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	1,781件
同行支援	随時	各種手続きやハローワーク等への同行支援。	34件
その他	随時	必要とされる支援	111件

2. 関係機関との連絡調整

- 就業・生活支援センター合同会議 3ヶ月に1回開催
- 富士・東部自立支援協議会 1ヶ月に1回開催、又は2ヶ月に1回
- 連絡調整会議 随時開催

<総括>

山梨県内における民間企業（43.5人以上規模の企業：法定雇用率2.3%）に雇用されている障害者数は2,125.0人で、前年より3.5%（71.5人）増加し、11年連続で過去最高となった。

ありすの前年度の就職件数は40件であったが、今年度は31件と9件の減少となってしまった。特に精神障がい者の就職件数は12件の減少となった。精神障がい、発達障がいに対しての認識不足や雇用管理の難しさから敬遠される企業もある。障がい者の中には障がいの受容ができておらず、働く経験が少ない方も多くおり、クローズ（障がいを隠して）で働いたり、障がい者雇用だから周りが配慮することが当前に思っている方もいる。中には「今生活ができていいるから働かなくてもいいや」と思う方もおり、行政などから繋がってきても先に進まないケースもある。

相談件数は令和4年度より83件減ってしまった。しかし、発達障がい者の相談件数は128件増え、改めて発達障がいのニーズの高さがわかった。

在職者交流会は年7回開催し、83名の方に参加していただいた。働いている方からの話（ピアサポート活動）は4回実施し、参加者には良い刺激となっており、働く意欲の向上にもつながっており、令和6年度も継続していく。

移動相談は毎月各ハローワークにて相談日を設け、就労に関する相談を受け付けている。各ハローワーク合わせて36回行い、47名の方の相談を受けた。相談の内容は「就業に向けた相談・支援」が25件と最も多く、次いで「就業と生活にわたる相談・支援」が15件となっている。

令和5年度の相談件数は2,340件あり、精神障がい（1,243件）と発達障がい（495件）を合わせて全体の7割を占めている。今後も増加することが見込まれるため、精神障がいや発達障がいの研修や勉強会などに積極的に参加し研鑽を積み、支援の強化を図る。

訪問型職場適応援助者事業

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

○ 職場適応援助者事業

職場適応援助者（ジョブコーチ）支援事業は、障がい者の職場適応に課題がある場合に、職場にジョブコーチが出向いて、障がい特性を踏まえた専門的な支援を行い、障がい者の職場適応を図ることを目的としています。

1. ジョブコーチ支援の内容

- ・ ジョブコーチ支援は、対象障がい者がその仕事を遂行し、職場に対応するため、具体的な目標を定め、支援計画に基づいて実施します。
- ・ 障がい者本人に対する職務の遂行や職場内のコミュニケーション等に関する支援だけでなく、事業主に対しても障がい特性に配慮した雇用管理等に関する支援を行います。
- ・ ジョブコーチが行う障がい者に対する支援は、事業所の上司や同僚による支援（ナチュラルサポート）にスムーズに移行していくことを目指します。

2. 実施状況

支援人数	1 名
支援件数	5 件
支援時間	4時間35分

3. 総括

令和5年度の支援人数は1名で、支援件数は5件でした。

職員の退職や異動にともない職員体制が整いません。令和6年度の事業は休止させていただきます。体制が整いしだい再開させていただきます。